

## 10 教育費 1 教育総務費 1 教育委員会費

### ① 教育委員会運営費（教育総務課）

#### 1 教育委員会の開催（13回開催）

〈取扱議案〉

- (1) 向日市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
- (2) 向日市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について
- (3) 向日市文化資料館管理運営規則の一部改正について
- (4) 向日市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について
- (5) 平成23年度使用小学校教科用図書の採択について
- (6) 平成23年度に使用する学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について
- (7) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
- (8) 向日市立学校の校長・教頭の人事異動の内申について
- (9) 平成23年度指導の重点について
- (10) 向日市文化財保護審議会委員の委嘱について
- (11) 向日市学校評議員の委嘱について
- (12) 向日市社会教育委員の委嘱について
- (13) 向日市教育委員会事務局職員の人事異動について

## 10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費

### ② 事務局運営費（学校教育課）

#### 1 適応指導教室の設置

市内の不登校の児童生徒を対象に教育相談に応じたり、集団への適応力を培うための指導を行い、児童生徒の主体性、自発性を育成し、早期に学校へ復帰できるよう、適応指導教室「ひまわり広場」を設置した。

#### 2 教育相談事業

小中学生の保護者等を対象に来所教育相談（天文館、市役所等）や電話教育相談、学校への巡回教育相談や家庭訪問による教育相談を実施した。

- ・来所教育相談件数（延べ150件）、電話相談件数（延べ44件）
- ・学校への巡回教育相談件数（9校×年3回で延べ141件）
- ・家庭訪問による教育相談件数（延べ59件）

#### 3 国の委託事業

- (1) 「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」

学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究

協力校 全小中学校

## 10 教育費 1 教育総務費 3 幼児教育振興費

### ① 幼稚園就園奨励費（教育総務課）

#### 1 私立幼稚園児教材費補助事業（1人当たり補助金額40,800円）

	対 象 者 数	補 助 金 額
満 3 歳 児	18 人	734,400 円
3 歳 児	279	11,383,200
4 歳 児	327	13,341,600
5 歳 児	324	13,219,200
合 計	948	38,678,400

#### 2 私立幼稚園就園奨励費補助事業（国庫補助事業）

補 助 の 範 囲	補 助 対 象 数	補 助 金 額
生活保護法の規定による保護を受けている世帯	2 人	220,000 円
市民税非課税世帯	53	10,407,500
市民税所得割非課税世帯	14	2,729,300
市民税所得割課税額が 34,500円以下の世帯	94	12,395,700
市民税所得割課税額が183,000円以下の世帯	613	45,447,900
合 計	776	71,200,400

3 私立幼稚園設備費補助金 540,000 円 （1園当たり 180,000円）

4 乙訓私立幼稚園協会教育研究補助金 195,000 円 （1園当たり 65,000円）

#### 5 私立幼稚園特別支援教育振興補助金

補 助 の 範 囲	1人当たり 補助金額	補 助 対 象 数	補 助 金 額
障がい児が3人以上在園している場合	98,000 円	24 人	2,352,000 円
障がい児が2人以下在園している場合	49,000	0	0
合 計			2,352,000

## 10 教育費 2 小学校費 1 学校管理費

### ② 学校管理運営費（学校教育課）

#### 1 校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

#### 2 安全対策

通学路の危険箇所（26か所）に交通指導員を配置し、交通安全指導を実施するとともに、関係機関に安全対策の要請を行った。

また、向日町警察署交通巡視員の派遣を得て、交通教室を開催するなど、交通道德の高揚に努めた。

各小学校に「交通安全反射電柱幕」を配布するとともに、1年全児童に「緊急用笛」を配付するなど安全対策に努めた。

### 3 就学指導委員会

#### (1) 目的

本市立小中学校に在籍又は就学予定の幼児、児童及び生徒について、障がい等に配慮した適切な就学について協議し、相談指導を行った。

#### (2) 委員構成 (39人)

市立小中学校教職員	22人	医師	1人
市立保育所職員	5	保健師	1
特別支援教育専門職	4	教育委員会事務局職員	3
市内幼稚園教職員	3		

#### (3) 相談指導件数 64件

### ③ 学校給食管理費 (学校教育課)

#### 1 学校給食 平成22年5月1日現在

学校名	給食実施児童数
向陽小学校	588人
第2向陽小学校	584
第3向陽小学校	459
第4向陽小学校	522
第5向陽小学校	699
第6向陽小学校	357
計	3,209

給食の方式・・・単独校調理場方式 給食の型・・・完全給食週5日制 米飯給食・・・週3回

#### 2 衛生管理

(1) 給食室ねずみ害虫等駆除業務委託

(2) 給食室排水桝清掃業務委託

#### 3 給食備品の整備

食器消毒保管庫、冷凍冷蔵庫、移動シンク、回転釜等給食備品の配備

#### 4 給食設備保守点検

給食設備・機械保守点検業務委託

#### 5 食中毒防止対策

(1) 調理師(員)、栄養士等の検便検査の実施

(2) 食材検査の実施

#### 6 学校給食調理業務委託

学校給食調理業務等委託実施(向陽小、3向小、4向小、5向小、6向小)

#### ④ 健康管理費（学校教育課）

- 1 学校医による健康診断の実施（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）
- 2 1年生児童に心電図検査を実施
- 3 結核健診精密検査、ぎょう虫検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施
- 4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出
- 5 小学校就学予定者を対象とする就学時健康診断の実施
- 6 学校薬剤師による保健室の寝具、特別教室のカーペットなど、ダニ検査の実施

#### ⑤ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

#### ⑥ 学校施設管理費（教育総務課）

- 1 施設保守管理業務委託等
  - (1) 便器清掃業務 (全校)
  - (2) 除草・側溝清掃業務 (向小・4向小)
  - (3) 学校管理業務 (全校)
  - (4) ごみ収集運搬業務 (全校)
  - (5) 臨時ごみ収集運搬業務 (全校)
  - (6) 機械警備業務 (全校)
  - (7) 校庭整備（樹木剪定等）業務 (向小・2・3・5向小)
  - (8) 樹木消毒業務 (全校)
  - (9) 排水汚水管清掃業務 (4向小)
  - (10) ガスヒーポン保守点検業務 (全校)
  - (11) 消防用設備等保守点検業務 (全校)
  - (12) 放送設備点検業務 (全校)
  - (13) 自家用電気工作物保守管理業務 (全校)
  - (14) 受水槽・高架水槽清掃点検業務 (4向小を除く全校)
  - (15) 運動施設遊具保守管理業務 (全校)
  - (16) 浄化槽維持管理業務 (2向小)
  - (17) テレビ共同受信施設保守管理業務 (3向小)
  - (18) 給水設備器具保守管理業務 (全校)
  - (19) 給食リフト保守点検業務 (3・4・5・6向小)
  - (20) プールろ過装置保守点検業務 (全校)
- 2 小学校施設整備工事
  - (1) 向陽小学校
    - ・北校舎解体工事
    - ・北校舎改築工事に係る機械警備他移設工事
  - (2) 第2向陽小学校
    - ・公共下水道接続工事
    - ・給食室ガス炊飯器増設工事
    - ・小学校1年生クラス増に伴う教室改修工事
  - (3) 第3向陽小学校
    - ・中校舎耐震補強工事
    - ・消火栓改修工事
  - (4) 第4向陽小学校
    - ・中校舎西棟耐震補強及び給食棟新築工事
    - ・中校舎西棟耐震補強及び給食棟新築工事に伴う整備工事
    - ・給食棟新築工事に伴う機械警備機器設置工事
  - (5) 第5向陽小学校
    - ・プール槽改修工事
  - (6) 第6向陽小学校
    - ・給食室ガス炊飯器増設工事
    - ・小学校階段室天井改修工事
  - (7) 全小学校
    - ・運動施設・遊具補修工事

## 10 教育費 2 小学校費 2 教育振興費

### ① 特別支援学級費（学校教育課）

障がい児一人ひとりの障がいと発達の実態を把握し、それに基づく教育課題を明らかにし、学習及び発達の保障に努めた。

また、第3向陽小学校と第6向陽小学校内に設けている通級指導教室の充実に努めた。

#### 1 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
向 陽 小 学 校	色と形あわせセット、サークルライン
第 2 向陽小学校	プレイバルーン
第 3 向陽小学校	お金模型、サッカーパイルボール
第 4 向陽小学校	光と数字あそび、色・形・数の学習セット
第 5 向陽小学校	スポットジャンピング
第 6 向陽小学校	タイムタイマー、特別支援の教材

#### 2 通級指導教室用教材備品購入

主 な 購 入 備 品 名
配列学習セット、バランス平均台、絵カード作成本、足台

#### 3 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	3 人	29,850 円
学用品費等	39	276,504
校外活動費（宿泊を伴うもの）	5	4,061
修学旅行費	8	124,852
給食費	39	808,824
合 計		1,244,091

### ② 教育助成費（学校教育課）

#### 1 学校図書館図書の整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	平成22年度末蔵書冊数
向 陽 小 学 校	626 冊	65 冊	72 冊	8,662 冊
第 2 向陽小学校	565	0	0	10,713
第 3 向陽小学校	600	52	0	6,966
第 4 向陽小学校	646	269	21	9,021
第 5 向陽小学校	626	11	0	10,165
第 6 向陽小学校	554	0	0	8,536
計	3,617	397	93	54,063

※ 購入冊数には、ふるさと納税寄付等による購入分1,003冊含む。

#### 2 教材備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
向 陽 小 学 校	ミシン、CDデッキ、セレクト都道府県地図、シンセサイザー、スポーツカウンター
第 2 向陽小学校	形・図形学習器、逆あがり補助器、両面グリーン黒板、ミュージックベル、とび箱運搬車
第 3 向陽小学校	教育用オルガン、握力計、大コンパス、かるいノート黒板、ミュージックベル
第 4 向陽小学校	シンバル、走り高跳び用スタンド、照度計、ミシン、アイロン、メトロノーム、室内マット
第 5 向陽小学校	ガステーブルコンロ、大コンパス、キーボード、室内マット、綱引き用ロープ、大型時計模型
第 6 向陽小学校	ガステーブルコンロ、ワイヤレスマイク、CD/MDデッキ、デジタルカメラ

### 3 要保護・準要保護児童援助費

経済的理由により就学が困難と認められる児童に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	40 人	796,000 円
学用品費等	401	5,424,080
校外活動費（宿泊を伴うもの）	74	117,907
修学旅行費	70	1,149,670
通学費	1	12,860
給食費	400	15,966,690
医療費	51	299,558
合 計		23,766,765

### 4 府の委託事業

#### (1) 教育課程研究指定校事業

指定校 第5向陽小学校

### ③ ひまわり教育費（学校教育課）

児童の心身を健康に育てるため、学校での健康づくり教育、環境教育、交流教育等を支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。また、授業やクラブ活動に対して社会人講師の導入を図った。

#### 1 体験活動の充実

豊かな体験活動を通して、児童の豊かな人間性や社会性を育成した。

「京の子ども夢・未来体験活動」推進事業

#### 2 文化芸術活動

児童の創造活動を通して豊かな情操を養うために、小学生夏休み作品展を開催した。

#### 3 府の委託事業

##### (1) 地域等の課題に応じた教育課程研究事業「伝統文化教育実践研究」

指定校 第4向陽小学校

## 10 教育費 3 中学校費 1 学校管理費

### ② 学校管理運営費（学校教育課）

#### 1 校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

#### 2 1年全生徒に「防犯ブザー」を配布するなど、不審者対策に努めた。

### ③ 健康管理費（学校教育課）

生徒及び教職員の健康保持・増進に努めるとともに、保健安全教育を実施した。

#### 1 学校医による健康診断の実施（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）

#### 2 1年生生徒に心電図検査を実施

#### 3 結核健診精密検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施

#### 4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出

#### 5 学校薬剤師による保健室の寝具、特別教室のカーペットなど、ダニ検査の実施

#### ④ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

#### ⑤ 学校施設管理費（教育総務課）

##### 1 施設保守管理業務委託等

(1) 便器清掃業務	(全校)	(11) 放送設備点検業務	(全校)
(2) 除草・側溝清掃業務	(勝山)	(12) 自家用電気工作物保守管理業務	(全校)
(3) 学校管理業務	(全校)	(13) 受水槽・高架水槽清掃点検業務	(全校)
(4) ごみ収集運搬業務	(全校)	(14) 運動施設遊具保守管理業務	(全校)
(5) 臨時ごみ収集運搬業務	(全校)	(15) 浄化槽維持管理業務	(勝山)
(6) 機械警備業務	(全校)	(16) テレビ共同受信施設保守管理業務	
(7) 校庭整備（樹木剪定等）業務	(勝山・寺戸)		(勝山・寺戸)
(8) 樹木消毒業務	(全校)	(17) 給水設備器具保守管理業務	(全校)
(9) ガスヒーポン保守点検業務	(全校)	(18) プールろ過装置保守点検業務	
(10) 消防用設備等保守点検業務	(全校)		(西ノ岡・寺戸)

##### 2 中学校施設整備工事

- (1) 勝山中学校
  - ・東校舎耐震補強工事
  - ・防砂ネット設置工事
- (2) 西ノ岡中学校
  - ・消火栓ポンプ取替工事
- (3) 寺戸中学校
  - ・バスケットゴール改修工事
- (4) 全中学校
  - ・運動施設・遊具補修工事

### 10 教育費 3 中学校費 2 教育振興費

#### ① 特別支援学級費（学校教育課）

障がい児一人ひとりの障がいと発達の実態を把握し、それに基づく教育課題を明らかにし、学習及び発達の保障に努めた。

##### 1 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝 山 中 学 校	ハンディータイマー
西 ノ 岡 中 学 校	おはなしえいごリアンDVD

##### 2 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	2 人	22,900 円
学用品費等	13	167,155
校外活動費（宿泊を伴うもの）	8	11,850
修学旅行費	2	87,612
体育実技用具費（柔道）	0	0
合 計		289,517

## ② 教育助成費（学校教育課）

### 1 学校図書館図書の整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	平成22年度未蔵書冊数
勝 山 中 学 校	589 冊	0 冊	187 冊	15,753 冊
西ノ岡中学校	528	0	0	9,663
寺戸中学校	279	0	0	10,862
計	1,396	0	187	36,278

### 2 教材備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝山中学校	小型電気窯、合唱用CD、ボールカゴ、ソフトボール用グローブ、小型地球儀、ハードル
西ノ岡中学校	ハンドボールゴール、ソフトボール用グローブ、数学指導用ソフト、ワイヤレスメガホン
寺戸中学校	世界地図、地球儀、合唱用CD、ソフトボール用グローブ、審判台、新生児抱き人形

### 3 吹奏クラブの充実を図るための楽器の購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝山中学校	クラリネット、フルート
西ノ岡中学校	クラリネット、メトロノーム、

### 4 要保護・準要保護児童援助費

経済的理由により就学が困難と認められる生徒に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	73 人	1,671,700 円
学用品費等	232	5,695,123
校外活動費（宿泊を伴うもの）	57	171,790
修学旅行費	78	3,812,721
医療費	18	152,612
体育実技用具費（柔道）	21	90,800
通学費	1	95,800
合 計		11,690,546

### 5 文化芸術活動

弁論大会、英語スピーチ大会及び中学生美術展・書道展を開催し、生徒の発表の場を設けるとともに教科の活性化を図った。



### ③ ひまわり教育費（学校教育課）

生徒の心身を健康に育てるため、学校での健康づくり教育、環境教育、交流教育等を支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。

また、授業やクラブ活動に対して、社会人講師の導入を図った。

#### 1 体験活動の充実

豊かな体験活動を通して、児童の豊かな人間性や社会性を育成した。

「京の子ども夢・未来体験活動」推進事業

#### 2 マーチングバンド備品購入

寺戸中学校吹奏楽・マーチングバンド部用に楽器等を購入した。

主	な	購	入	備	品	名
スーザフォン、スーザフォンソフトケース						

## 10教育費 4社会教育費 1社会教育総務費

### ② 社会教育委員費（生涯学習課）

#### 1 社会教育委員 9人（男5人、女4人）

#### 2 社会教育委員の会議

	開 催 日 ・ 会 場	内 容
1	5月18日(火) 午前9時30分～11時30分 市役所 大会議室	・ 役員の選任について ・ 平成22年度社会教育関係事業計画について ・ 平成22年度社会教育委員関係事業計画について
2	8月10日(火) 午前9時30分～10時30分 市役所 大会議室	・ 平成22年度社会教育関係団体に対する補助金交付について ・ 平成22年度京都府社会教育委員連絡協議会総会参加報告について ・ 平成22年度乙訓社会教育委員等連絡協議会総会研修会参加報告について
3	11月2日(火) 午前10時～12時 市役所 大会議室	・ 研修「伏見における人権のあゆみー明治期から現代までー」について ・ 平成22年度近畿地区社会教育研究大会参加報告について
4	2月17日(木) 午後3時～5時15分 市民会館 第5会議室	・ 平成22年度社会教育関係事業報告について ・ 平成23年度社会教育関係団体等への補助金（予算）について ・ 平成23年度社会教育指導の重点について ・ 平成22年度京都府社会教育研究大会参加報告について

### 3 各種研修会・大会

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参加人数
京都府社会教育委員連絡協議会 総会	6月11日(金) 午後1時30分～4時30分	宇治市文化センター	5人
乙訓社会教育委員等連絡協議会 総会・研修会	6月29日(火) 午後1時30分～4時00分	向日市文化資料館	8人
近畿地区社会教育研究大会 「滋賀大会」	9月3日(金)	大津市民会館	6人
京都府社会教育委員連絡協議会 研究大会	11月26日(金) 午後1時～4時30分	長岡京市立中央公民館	7人
乙訓社会教育委員等連絡協議会 研修会	2月28日(月) 午後2時～4時30分	乙訓総合庁舎	6人

### ③ 社会教育活動費（生涯学習課）

#### 1 生涯学習

##### (1) 向日市生涯学習「人材ほっとバンク」

様々な知識や技能など、自らの学習成果を市民の学習活動に役立てたいという熱意を持った方や団体に指導者として登録していただき、学びたいと希望されている市民に指導者を紹介した。

##### (2) 生涯学習推進サークル「まなぼうや」の活動支援

生涯学習の推進に取り組むボランティアサークルの活動について、各種講座が円滑に開催されるように、広報活動等の支援を行った。 合計 17講座

大人対象（きものリフォーム、園芸、歴史、生け花、パソコン、編み物）

子ども対象（生け花・工作）

##### (3) 生涯学習情報紙の発行

市などが開催する生涯学習関連事業をより多くの市民に広報するため、生涯学習情報（前期・後期）及び子ども向けの夏休み特集の情報紙を年間計3回発行した。

#### 2 人権教育

##### 人権研修会の開催

人権問題の正しい理解と認識を深め、市民の人権意識の高揚を図るため、研修会を2回開催した。

	開 催 日	会 場	内 容	講 師	参加人数
1	8月27日(金) 午前10時～ 11時30分	市民会館 第1会議室	講演 「婚活時代の結婚差別」	京都教育大学 教授 伊藤 悦子さん	41人
2	12月8日(水) 午前10時～ 11時30分	市民会館 第1会議室	講演 「インターネット社会と人権」	関西大学 教授 松井 修視さん	51人

### 3 各種講座・研修会

#### (1) 学校支援ボランティア交流講座の開催

開催日	会場	内 容	講 師	参加人数
11月10日(水) 午前10時～ 11時30分	第3向陽小学校 ランチルーム	講演 「子どもの理解と支援にとって大切なこと」	京都府立大学 教授 築山 崇さん	23 人

#### (2) 家庭教育講座の開催

開催日	会場	内 容	講 師	参加人数
12月11日(土) 午前10時～ 11時30分	市民会館 第1会議室	講演 「子どもの生活習慣—小児肥満から考える」～『早寝・早起き・朝ごはん』のススメ～	京都府立医科大学 学内講師 小坂 喜太郎さん	30 人

### 4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

- ・市立小中学校のPTA（9校） 180,000円

## ④ 青少年健全育成費（生涯学習課）

### 1 健全育成事業

#### (1) ジュニア・リーダー養成講座（初級・上級）

ア 実施日及び内容

実 施 日	内 容	会 場
6月13日(日)	開講式、班分け、集団ゲームほか	市民会館第5会議室
7月11日(日)	調理実習（ピザ作り）、ゲーム	市民会館料理実習室・第5会議室
8月1日(日)	昆虫観察（京都教育大学から特別講師招聘）	市民会館第1会議室
9月5日(日)	運動会	向陽小学校体育館
10月17日(日)	飯ごう炊さん	第6向陽小学校野外炊飯施設
11月7日(日)	歴史散策	文化資料館、市内遺跡各所
12月12日(日)	閉講式	市民会館第5会議室

イ 参加者 初級：市内の小学5・6年生 18人  
上級：市内の中学生 3人

#### (2) 京のまなび教室推進事業（放課後児童サポート事業）

全学年の児童が一斉に下校することにより、児童を極力一人にさせない下校を確保し、特に、低学年児童の安全確保を第一に考え、授業終了時刻から下校時刻までの時間に、低学年児童が学校で友達と自由に遊びながら、体力づくりや仲間づくりをすることによって、心身ともに健康な児童を育てるよう実施した。

- ア 開催回数 実施回数 179回  
 イ 会場 市内全小学校  
 ウ 内容 グラウンド・体育館での自由遊び、図書館での読み聞かせ、特別講師によるプログラムなど  
 エ 指導者 アドバイザー・安全管理員  
 オ 対象者 1～2年生児童

(3) 野外炊飯施設使用状況

ア 使用回数 (単位：回)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	－	1	1	3	－	－	2	－	1	2	－	1	11

(4) 青少年健全育成市民ふれあいコンサート

ア 実施日 平成23年3月27日（日）に実施を予定していたが、東日本大震災発生に伴い中止した。

イ 出演予定をしていた団体

- 勝山中学校吹奏楽部  
 西ノ岡中学校吹奏楽部  
 寺戸中学校吹奏楽部・マーチングバンド部  
 京都府立向陽高等学校吹奏楽部  
 京都西山高等学校吹奏楽部  
 ARTY BEARS

2 関係団体との連携活動

(1) 健全育成活動

少年補導委員会、PTA等の関係団体とともに補導パトロールを実施し、青少年健全育成活動に努めた。

主な取組

実施日	内容
学校の長期休業日	地区ごとに夜間パトロール（8月7日市内一斉パトロール） 各支部パトロール42回述べ927人参加
随時	重点地区パトロール

(2) 環境浄化活動

青少年を取り巻く地域環境の浄化について、京都府を主体に関係団体が協力、連携して書店やレンタルビデオ店、カラオケ店等の実態を調査し、青少年の健全育成への理解と協力を求めた。

また、自販機等の調査については、京都府環境浄化推進員が随時行った。

主な取組

実施日	内容
7月23日（金）	少年を非行から守る全国強調月間として環境浄化立ち入り調査を実施 市内の書店、ビデオ店、コンビニ店、携帯電話販売店などを対象に実態調査

(3) 啓発活動

夏・冬・春休みなどにチラシ、ポスターを作成・配布。また、啓発活動を随時実施

(4) 子ども会育成者説明会（総会時）

ア 実施日 平成22年5月15日（土）

イ 会場 市民会館第1会議室

ウ 内容 向日市子ども会の概要、子ども会関係団体について、生涯学習課主管事業について

3 成人式

(1) 実施日 平成23年1月10日（月・祝）

(2) 会場 市民会館ホール

(3) 内容 記念式典、小学校との交流

(4) 出席者 成人 341人（対象者459人） 来賓 52人

4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

(1) 向日市子ども会育成連絡協議会 400,000円

(2) 向日市少年補導委員会 500,000円

(3) 向日市青少年健全育成連絡協議会 200,000円

(4) 物集女青少年健全育成会議 20,000円

10 教育費 4 社会教育費 2 中央公民館費

② 公民館運営費（中央公民館）

1 中央公民館主催事業

生涯学習時代を迎えた今日、市民の多様化する学習ニーズに応えられる各種講座を開催するなど、学習機会及び情報の提供並びに市民の自主的な学習への支援を行い、生涯学習への環境づくりに努めた。

講 座

事業名	実施日（期間）	参加対象・人数	講師・指導者	内 容
健康講座		市民成人	太極拳クラブ 塩貝 久雄さん	「はじめての太極拳」 初めて体験する太極拳を通じて、心身とも健康な日常生活を送ることを目的に実施した。
	6月18日（金）	19人		
	6月25日（金）	15人		
	7月2日（金）	14人		
	7月9日（金）	14人		
健康講座	12月10日（金）	市民成人 17人	京都府立大学 教授 木戸 康博さん	「腹八分目と別腹」 人が食事を摂る理由や献立のバランス、朝食を摂ることによる日常生活への効果、また、腹八分目が身体に良く、次に食することへの楽しみとなり、満足感（別腹）が必要であることを学んだ。

教養講座		小学校5 ～6年生と その保護者	日本剪画協会 副会長 大月 透さん	「剪画を楽しむ」 日本の伝統的な技法と素材を現代に 生かした、新しい芸術の分野である剪 画を親子で体験した。
	① 7月31日(土)	3組7人		
	② 8月7日(土)	3組7人		
	③ 8月21日(土)	3組7人		
教養講座	10月6日(水)	市民成人 19人	わち山野草の森 丹波ワインハウス事業(株)	「爽秋の丹波路へ～野の花めぐり～」 わち山野草の森では、専門員の解説 を聞きながら散策し、その後山野草を 使った苔玉作りを体験した。 また、ワインハウスでは収穫の終 わった4haの農場を観て、ワイン製造 工程を見学した。
教養講座	10月8日(金)	市民成人 22人	京都府立大学 教授 大谷 貴美子さん	「京都の食文化を考える」 京都における食文化と、健康のため の食生活など、幅広い講演だった。 今に伝わる、京の食文化が大切にし ている献立の構成など、改めて理解で きた。
教養講座	2月19日(土)	市民成人 24人	京都府立医科大学 教授 松田 修さん	「ips細胞の可能性と課題」 ips細胞(人工多機能生幹細胞)の樹立 は、生物学と医学の広い領域に影響を 与えている。ips細胞がどのような細胞 で、その重要性や可能性について、再 生医療を実現する上で克服すべき問題 など講義があった。
ふしぎ発見！ 理科教室 (5回)		小学校4 ～6年生		理科好きの子どもを育成するため、 国家資格を有する科学の専門家から理 科の不思議について学んだ。
	① 6月5日(土)	31人	京都技術士会 奥 正夫さん	『「色」の不思議』
	② 7月10日(土)	27人	京都技術士会 金子 弘勝さん	『おいしい水をつくろう』
	③ 8月11日(水)	34人	京都技術士会 的場 一洋さん	『望遠鏡の原理』
	④ 9月11日(土)	22人	京都技術士会 柴田 究さん	『センサってなんだろう』
	⑤ 10月16日(土)	26人	京都技術士会 椋田 睦夫さん	『圧力の不思議』
子ども科学 体験教室	8月3日(火)	小学校4 ～6年生と その保護者 15組30人	(株)村田製作所	電子工作教室！ 「ブルブル星人&トトリモモンを作ろう」 夏休み期間を利用し館外に出かけ、 科学の実験や工作などの体験活動を通 じて、子ども達の科学への興味・関心 を高めることを目的に行った。
親子ふれあ 講座	8月5日(木)	小学校4 ～6年生と その保護者 5組10人	大阪ガス(株) 京滋リビング 営業部 大阪ガス クッキングスクール	「親子クッキング」 親子で朝食の大切さを学び、簡単な 朝食メニューを調理し、食への興味・ 関心を高める目的で行った。 (ロールパンサンド2種類、野菜いっ ぱいのスープ、バナナのカップケー キ)

子ども体験教室	12月22日(水)	小学校1 ～6年生 20人	学校教育課職員	「わくわくX'masクッキング」 食育教育の一環として、子ども達が簡単な調理をすることで、食への興味・関心を高める目的で行った。 メニュー：チキンのオープン焼き、添え野菜、ピザトースト、クッキー、プチデコレーションケーキ
国際理解講座	1月15日(土)	市民成人 27人	京都府名誉友好大使 荘 心宜さん	「台湾の客人～客家」 台湾民族の歴史から始まり、客家茶「東方美人茶」が紹介され、参加者全員で試飲した。その後、台湾の地理や国旗の説明、民族衣装が披露された。客家について、客人である所以や文字を持たなかったこと、料理の話など画像も用いて行われた。
市民体験講座		小学生以上 各回7組	そばを楽しむ会	「そばを打つ・食す」 市民文化展の開催時、中央公民館クラブ「そばを楽しむ会」を講師として、そば打ちの体験教室と試食会を開催した。 試食：11月20日(土)43人 11月21日(日)45人
	11月20日(土) 2回	14組 25人		
	11月21日(日) 1回	7組 14人		
市民文化展	11月20日(土) ～21日(日)	市民、在勤 在学15歳 以上 出品者123名 来場者491名		市民の創作による作品を展示・発表する場を提供し、文化活動の活性化を図ることを目的として実施した。

## 2 中央公民館グループ活動

(1) クラブ・サークル数 22クラブ 部員数 562人

(2) 学習発表会

会場	実施日	内 容	ク ラ ブ 数
中央公民館	平成23年 3月5日(土) 3月6日(日)	【展示・掲示発表】 油絵、日本画、書、ペン習字、 写真、生花、そば打ちの実演	9クラブ 出品点数 148点

## 3 中央公民館室別利用状況

(単位：回、人)

室	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室	第5会議室	第6会議室	料理実習室	和 室	計
利用回数	186	119	80	65	161	35	54	58	758
利用人数	4,529	2,240	1,408	880	3,312	254	1,178	772	14,573

## 10 教育費 4 社会教育費 3 地区公民館費

### ① 地区公民館費（中央公民館）

#### 1 地区公民館における事業

市民が身近な公民館で、一般教養、趣味などの講座に参加することにより教養を高め、また、地域の活性化が図れるように努めた。

#### 講 座

公民館名	内 容	実 施 日	参加者数	講 師 ・ 指 導 者
寺 戸	雑学講座 「よろしおすえ 京ことば」	6月23日(水)	33人	京ことばの会 代表 中島 さよ子さん
	剪画教室 「剪画技法による布うちわ・夢うちわ創り」 対象：中学生以上	8月5日(木)	26人	日本剪画協会 副会長 大月 透さん
	健康講座 「フラダンスを体験する」	10月20日(水)	26人	佐々木 満子さん
	園芸講座 「寄せ植えを楽しむ」	12月15日(水)	32人	中山 富士夫さん
物 集 女	手芸講座 「お正月用玄関飾り」	12月16日(木)	16人	島 せつ子さん
森 本	ミニ寄せ植え 正月バージョン	12月11日(土)	27人	山本 末成さん
鶏 冠 井	楽しみながら作ってみましょう！ クリスマス風寄せ植え	12月1日(水)	25人	中山 富士夫さん
上 植 野	金箔手工芸講座 「色紙に金箔で干支を描く」	11月10日(水)	27人	宍戸 悦子さん

#### 2 グループ活動

##### (1) 地区公民館クラブ数・部員数

公民館名	寺 戸	物 集 女	森 本	鶏 冠 井	上 植 野	計
ク ラ ブ 数	43	6	12	10	9	80
部 員 数	639	93	186	124	112	1,154

##### (2) 学習発表会

公民館クラブ・サークルの1年間の学習成果発表

公民館名	実 施 日	展示・掲示発表 ク ラ ブ 数
寺 戸	2月19日(土)・20日(日)	11
物 集 女	2月12日(土)・2月13日(日)	6
森 本	1月29日(土)・30日(日)	6
鶏 冠 井	2月5日(土)・6日(日)	10
上 植 野	2月5日(土)・6日(日)	4



3 地区公民館使用状況

(単位：回、人)

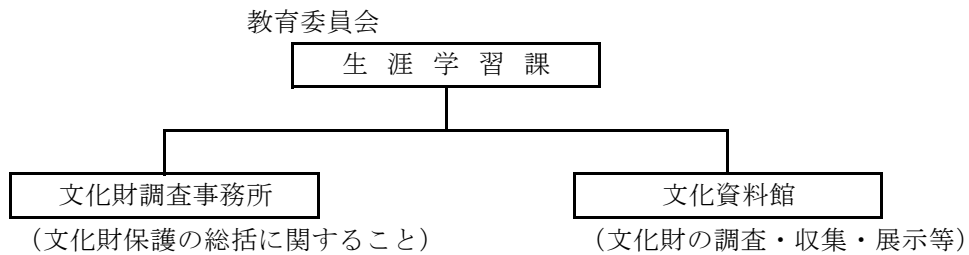
公民館名	寺戸	物集女	森本	鶏冠井	上植野	計
利用回数	1,488	423	522	403	306	3,142
利用人数	18,386	5,890	9,533	4,689	4,585	43,083

10 教育費 4 社会教育費 4 文化財保護費

② 文化財保護事業費（文化財調査事務所）

市内の文化財を保護し、普及・活用を促進するため、次の事業を実施した。

1 文化財保護の体制



2 文化財保護審議会

(1) 第30回文化財保護審議会

ア 開催日 平成23年2月7日(月)

イ 場所 向日消防署 3階 講堂ほか

ウ 出席委員 8名

エ 内容

(ア) 史跡長岡宮跡朝堂院西第四堂の整備事業調査について(現地視察)

(イ) 向陽小学校北校舎建築に係る発掘調査について(現地視察)

(ウ) 向陽小学校北校舎建築に係る発掘調査において検出した遺構の取扱いについて

3 市域に所在する指定文化財等

平成23年3月31日現在

		有形文化財								無形文化財	民俗文化財		記念物			文化的景観	伝統的建造物群保存地区	保存技術	合計
		建造物		美術工芸品							有形	無形	史跡	名勝	天然記念物				
		件数	棟数	彫刻		絵画	古文書	考古資料	歴史資料										
				仏像	石造物														
国	指定	1	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
	登録	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
府	指定	2	3	0	0	0	0	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	8
	登録	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	選定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
市	指定	0	0	7	1	2	5	7	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	27
合計		11	12	7	1	3	7	12	1	0	1	2	4	0	0	1	0	0	50

#### 4 有形文化財の保護と防火防犯

##### (1) 文化財火災予防運動（乙訓消防組合との共同事業）

ア 期 間 平成23年1月23日～平成23年1月29日

（平成23年1月26日は、「第57回文化財防火デー」）

イ 内 容 社寺等に対する防火設備等検査、防火運動広報等

（ア）期間中、広報誌にて啓発。市役所庁舎前、乙訓消防組合各庁舎及び市内社寺にて看板を設置

（イ）平成23年1月25日に、向日神社をはじめ南真経寺、北真経寺等の国指定、京都府指定・登録文化財の建造物に立入検査し、消防設備の点検及び防火に対する広報を実施した。

（ウ）平成23年1月24日

向日消防署本部の主催により、北真経寺において文化財消防訓練を実施した。

（北真経寺檀家、向日消防署、向日市消防団、向日市教育委員会等、参加者80人）

ウ そ の 他

（ア）防火・防犯の徹底の呼びかけ、文書案内等 5回／年

##### (2) 文化活動等への補助

ア 目 的 有形文化財を活用した文化活動に対する補助

イ 交 付 先 国登録有形文化財 中小路家住宅

ウ 補 助 額 40,000 円

##### (3) 維持管理等への補助 向日市文化財保護事業補助金事業

ア 目 的 有形文化財の維持管理等に対する補助

イ 内 容 市内に所在する個人及び法人等が所有する指定・登録文化財の維持管理経費の一部を補助する。

ウ 交 付 先 等

（ア）向日神社本殿（国指定文化財） 防災設備維持管理等 70,000円

（イ）須田家住宅（府指定建造物） 防災設備維持管理等 24,000円

（ウ）南真経寺開山堂・本堂（府指定建造物） 防災設備維持管理等 19,000円

##### (4) 指定・登録文化財の保全修理への補助 府指定・登録文化財等補助金事業

ア 目 的 有形文化財の保全

イ 内 容 市内に所在する個人及び法人等が所有する指定・登録文化財の大規模な保存修理の経費の一部を補助する。

ウ 交 付 先 等 南真経寺開山堂・本堂（府指定建造物）屋根瓦葺替、部分修理 3,000,000円

#### 5 無形民俗文化財の保護と後継者育成

##### (1) 補助金の交付

ア 団 体 名 京都府指定無形民俗文化財 鶏冠井題目踊

イ 目 的 各種活動と後継者育成のため

ウ 金 額 36,000円

6 記念物の保護

(1) 史跡

史跡長岡宮跡一覧表

別紙 10-4-4②史跡長岡宮跡一覧表

(単位：㎡)

名称	地区	指定年月日	所在地	小字	史跡の所有形態							整備状況				
					国有地	府有地	市有地	公社等有地	社寺有地	私有地	その他	計	整備地	仮整備地	未整備地	計
史跡長岡宮跡	大極殿・小安殿地区	昭和39年4月27日	鶏冠井町	大極殿・祓所	0.00	2,510.61	242.03	0.00	0.00	0.00	0.00	2,752.64	2,752.64	0.00	0.00	2,752.64
	内裏内郭築廻廊地区	昭和48年4月23日		荒内	0.00	1,165.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,165.98	1,165.98	0.00	0.00	1,165.98
	築地地区	昭和56年9月8日		稲葉	323.96	0.00	633.70	0.00	0.00	0.00	0.00	957.66	957.66	0.00	0.00	957.66
	朝堂院西第四堂地区	平成4年5月6日		山畑	0.00	0.00	1,867.86	0.00	0.00	0.00	0.00	1,867.86	1,867.86	0.00	0.00	1,867.86
	宝幢地区	平成11年1月14日		祓所	0.00	0.00	577.74	0.00	0.00	328.95	0.00	906.69	0.00	741.74	164.95	906.69
	閤門地区	平成14年3月19日		祓所	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	769.84	769.84
	朝堂院西第四堂・南門地区	平成14年9月20日		山畑	0.00	0.00	662.18	0.00	0.00	0.00	0.00	662.18	662.18	0.00	0.00	662.18
	閤門前庭・朝堂院南面回廊地区	平成18年7月28日	野上町植	祓所・山畑	0.00	0.00	1,213.87	0.00	0.00	572.79	0.00	1,786.66	922.34	0.00	864.32	1,786.66
	大極殿東面回廊地区	平成22年2月22日		鶏冠井町	祓所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	324.03	0.00	324.03	0.00	0.00	324.03
計					323.96	3,676.59	5,967.22	0.00	0.00	1,225.77	0.00	11,193.54	8,328.66	741.74	2,123.14	11,193.54

上記の表のとおり、平成22年度末現在の史跡面積は11,193.54㎡である。

(2) 史跡・遺跡等文化財用地の保存と維持管理

市内の遺跡には、国指定史跡が8か所、府指定史跡が1か所、市指定史跡が1か所存在する。

また、寺戸大塚古墳や森本遺跡など史跡に準ずる未指定の貴重な遺跡も存在する。

本年度は、これらの遺跡の保存・保護について公益社団法人向日市シルバー人材センター等に委託し、各種の維持管理事業を実施した。

ア 史跡長岡宮跡：朝堂院公園地区

京都府緊急雇用創出事業により、離職者を文化財案内員として雇用した。史跡の管理として、案内員、職員により清掃等を実施した。

イ 史跡長岡宮跡：築地公園地区

遺跡復元地の美観を保つため、除草（年2回）、生け垣刈込み（年1回）を委託した。

ウ 史跡長岡宮跡：宝幢跡地区

遺跡復元地及び買上地の美観を保つため、除草業務（年3回）を委託するとともに、職員により清掃作業等を実施した。

エ 府史跡物集女車塚古墳公園

遺跡保全整備地の美観を保つため、通常の管理として、清掃業務（年20回）、植栽への夏期散水（6回）を委託するとともに、職員により清掃・散水作業を実施した。

オ 長岡宮跡：朝堂院西方官衙

遺跡の現状を維持するため、除草業務（年2回）を委託するとともに、草刈作業等を実施した。

カ 史跡長岡宮跡：閤門地区

遺跡の美観を保つため、除草業務（年3回）を委託するとともに、職員により草刈作業等を実施した。

キ 寺戸大塚古墳

寺戸大塚古墳後円部の美観を保つため、除草・タケノコ除去（年4回）を委託するとともに、職員により同作業を実施した。

(3) 史跡長岡宮跡朝堂院西第四堂保全整備

ア 阪急西向日駅前の史跡長岡宮跡活用のため実施してきた遺構明示等の復原整備工事が完成し、国庫補助金等を得て、文化財の活用推進のため案内板を設置した。

(ア) 事業費 7,224,000円

(イ) 事業概要 遺構を立体化した磁器製の案内板3基の作成、設置等を委託

イ 京都府障がい者自立支援特別対策交付金事業補助金を得て、オストメイト対応トイレを設置した。

(ア) 事業費 1,000,000円

(イ) 事業概要 オストメイト対応マルチパック機器の設置等

ウ 朝堂院公園案内・休憩所開所式

史跡長岡宮跡朝堂院西第四堂地区（朝堂院公園案内・休憩所）の開所記念の式典を実施した。

(ア) 開催日 平成22年6月22日（火）

(イ) 場所 休憩・便所棟前

(ウ) 内容 テープカット、開所宣言、施設見学

エ 整備記念見学会・講演会の開催

(ア) 開催日 平成22年11月21日（日）

(イ) 内容 講師との長岡宮跡見学会と講演会

(ウ) 講師 元帝塚山学院大学教授 中尾芳治氏

(エ) 参加者 67人

オ 文化財案内員配置及び維持管理業務委託

(ア) 目的 史跡整備を実施した朝堂院公園の活用を促進するため、京都府緊急雇用創出事業により、案内員を配置し利用者の用に供した。

(イ) 案内員数 5人

(ウ) 利用者数 (案内員が説明した人数)

月	稼働日数	利用者数	1日平均	月	稼働日数	利用者数	1日平均
6月	8日	279人	34.88人	11月	25日	541人	21.64人
7月	26日	365人	14.04人	12月	21日	409人	19.48人
8月	20日	187人	9.35人	1月	18日	217人	12.06人
9月	27日	337人	12.48人	2月	24日	470人	19.58人
10月	27日	367人	13.59人	3月	26日	530人	20.38人
				計	222日	3,702人	16.68人

7 埋蔵文化財の保護

(1) 埋蔵文化財の事務

周知の埋蔵文化財包蔵地内(遺跡内)での土木工事等の書類(文化財保護法による届出・通知)審査を実施し、埋蔵文化財が破壊される場合は、工事主体者の理解と協力を得て、財団法人向日市埋蔵文化財センターに指導し、各種の調査を実施した。

ア 開発、まちづくり条例に係る文化財審査 28件

イ 建築確認申請に係る文化財審査 206件

ウ 届出書受理件数 117件(遺跡内での個人・法人等が実施した土木工事件数)

エ 通知書受理件数 20件(遺跡内での公共機関が実施した土木工事件数)

オ 発掘調査件数 7件 2,752.50㎡(「平成22年度埋蔵文化財発掘調査一覧表」参照)

カ 工事立会件数 121件

※ ウの発掘調査及びエの工事立会は、教育委員会の指導と委託により、財団法人向日市埋蔵文化財センターにおいて実施した。

(2) 埋蔵文化財の指導と調査

埋蔵文化財の保護と各種の調査、整理・報告、広報・普及、資料収集等業務の一部を財団法人向日市埋蔵文化財センター(昭和63年4月1日設立)に委託した。

・教育委員会と原因者の協議により、調査期間及び金額を決定

・教育委員会が、個別地区の調査の詳細について、財団法人向日市埋蔵文化財センターを指導

ア 国宝重要文化財等保存整備費補助金交付対象事業(補助金事業) 16,821,000円

イ 向日市単独事業 2,100,000円

ウ 原因者負担金事業 4,247,119円

(教育委員会の指導により、財団法人向日市埋蔵文化財センターが原因者から受託)

エ 平成22年度埋蔵文化財調査

(7) 埋蔵文化財発掘調査地一覧表

平成22（2010）年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表								
	遺跡名	調査回数	調査地	原因者 (土地所有者等)	調査期間	面積 (㎡)	出土 遺物数 (箱)	備考
1	長岡宮跡	第478次	寺戸町西田中瀬	法人開発	10.05.11～10.05.28	15.00	2	※
2		第480次	鶏冠井町楓畑	向日市学校建築	10.08.02～10.10.08	306.50	5	
3		第481次	向日町南山	向日市学校建築	10.10.04～11.01.28	845.00	11	
4		第482次	向日町南山	向日市学校建築	11.03.14～11.03.31	845.00	2	
5	長岡宮跡 元稲荷古墳	第479次 第7次	向日町北山 (元稲荷古墳)	向日市（範囲内容確認）	10.07.20～10.09.30	111.50	1	※
6	長岡京跡	左京第539次	鶏冠井町十相	向日市（範囲内容確認）	11.01.11～11.03.18	400.00	45	※
7	南条遺跡	第7次	物集女町長野	法人開発	10.08.23～10.10.01	226.00	1	
合計						2,749.00	67	
						一発掘調査あたりの平均	392.71	9.57

※：国庫補助対象事業

無印：民間開発等原因者負担金による事業(市公共事業を含む)

(イ) 発掘調査面積は、一件平均392.71㎡である。

(3) 報告書等刊行事業

『向日市埋蔵文化財調査報告書 第89集』 300冊

財団法人向日市埋蔵文化財センターに委託した調査のうち、国宝重要文化財等保存整備費補助金交付対象事業5件の発掘調査の概要報告書を刊行した。

(4) 出土遺物保存処理・維持管理事業

ア 長岡京跡ほか出土遺物保存処理事業(国庫補助事業)

(ア) 目的 埋蔵文化財発掘調査により出土した木製品や金属器は、出土状態のまま保管すると変形や腐食のため形態が損なわれる。そこで、向日市文化資料館等で展示・活用できるように、出土した遺物の科学的保存処理を実施した。

(イ) 点数 木製品 65点 (長岡京跡出土木簡)

(ウ) 出土地 向日市鶏冠井町沢ノ東地内ほか

(エ) 委託先 京都府立山城郷土資料館

(オ) 処理方法 溶剤、樹脂含浸法

(カ) 委託料 2,600,000円

イ 長岡京跡ほか出土遺物復原業務

(ア) 目的 埋蔵文化財発掘調査により出土した土器等の遺物を、普及、活用するため復原業務を委託した。

(イ) 点数 447点

(ウ) 出土地 長岡京跡ほか

(エ) 委託先 民間調査機関

(オ) 委託料 16,487,100円

(5) 向日市埋蔵文化財調査研究事業補助金

埋蔵文化財調査業務の事業を円滑に実施するため、「向日市埋蔵文化財調査研究事業補助金交付要綱」により財団法人向日市埋蔵文化財センターの person 費と施設維持管理費に対し補助金を交付した。

平成22年度補助金交付額	44,315,000 円	内訳	人件費	42,615,000 円
			施設費	1,700,000 円

8 乙訓文化財事務連絡協議会

(1) 目的

(乙訓2市1町の教育委員会、財団法人向日市埋蔵文化財センター、財団法人長岡京市埋蔵文化財センターの5機関で構成)

(2) 組織

広域遺跡「長岡京跡」を包蔵する乙訓2市1町の文化財保護行政の統一を図るとともに共同事業「スライドでみる乙訓の発掘」を開催し、近年の発掘調査成果等を広く参加者に発表した。平成22年度は、大山崎町教育委員会が代表幹事を務めた。

(3) 協議会 平成22年6月23日(水)、12月10日(金)

埋蔵文化財発掘調査、工事立会経費と単価について  
埋蔵文化財アルバイト従事者の単価について

(4) 「スライドでみる乙訓の発掘」

ア 開催日 平成23年3月6日(日)  
イ 場所 大山崎ふるさとセンター3階ホール  
ウ 内容

(ア) 特別報告 乙訓南部の古墳

(イ) スライド報告

- a 恵解山古墳の調査
- b 長岡宮跡の調査
- c 松田遺跡・下海印寺遺跡(西条地区)の調査
- d 大原野・灰方の窯の調査ー緑釉素地焼成窯ー

エ 参加者

市民等 約75人

9 文化財の広報普及事業

(1) 物集女車塚古墳の石室一般公開

ア 開催日 平成22年5月25日(火)～平成22年5月29日(土)

イ 場所 物集女車塚古墳

ウ 目的 平成6年度に整備工事を完了した物集女車塚古墳の石室を広く市民に公開し、古墳への理解と文化財保護愛護の精神を深める。

エ 見学者 見学者803人 1日平均160.6人

オ その他 一般公開日以外も、見学を希望する団体には臨時に石室を公開して、説明を実施した。

臨時公開日	団体名	参加者
平成22年4月15日(木)	京都市立上里小学校	54人
平成22年4月17日(土)	花園大学考古学研究室	12人
平成22年5月14日(金)	第3向陽小学校	74人
平成22年5月19日(水)	慶応女子高等学校	7人
平成22年6月3日(木)	高槻市文化財スタッフの会 考古学部会	35人
平成22年6月16日(水)	成安幼稚園	63人
平成22年7月12日(月)	龍谷大学考古学研究会	24人
平成22年11月5日(金)	大原野歴史同好会	9人
平成22年11月23日(火)	関東地方文化財行政、大学機関帰属考古学研究者	8人
平成22年12月14日(火)	向日市文化資料館ボランティアの会	14人
平成23年2月22日(火)	向日市観光協会	28人
平成23年2月25日(金)	龍谷大学龍谷エクステンションセンター	40人
平成23年2月26日(土)	龍谷大学龍谷エクステンションセンター	40人

(2) 資料の貸出等

本市所蔵の出土遺物や写真資料等を他機関へ貸し出すなど、文化財保護及び本市の文化財について広報普及を図った。

ア 貸出等 178点

機関名等	点数	備考
池田市立歴史民俗資料館	31点	特別展「古墳時代の猪名川流域」
東北歴史博物館	14点	特別展「多賀城・大宰府と古代の都」
龍谷大学文学部	8点	博物館実習「十二月展」展示
高槻市教育委員会	21点	今城塚古代歴史館開館記念特別展に出展
大阪歴史博物館	4点	展示フロア「難波宮の時代」に継続出展
向日市文化資料館	34点	出土遺物からみた物集女車塚古墳展
財団法人向日市埋蔵文化財センター	31点	出土小札の成分分析及び図面化作業
	10点	朝堂院公園常設展示
	16点	星空コンサート展示
	8点	サティミニミュージアム出展
	1点	市民考古学講座に展示等

イ 写真資料提供、転載等 42点

機関名等	点数	備考
東北歴史博物館	7点	特別展「多賀城・大宰府と古代の都」
京都新聞洛西総局	1点	十ヶ坪出土銅鈴
NHK出版教育文化編集部	1点	ラジオ番組テキストに掲載
㈱ロム・インターナショナル	1点	書籍「続日本紀と日本後紀」に掲載
池田市立歴史民俗資料館	1点	車塚古墳出土「振り環頭大刀振り環部」
JR西日本ジパング倶楽部	7点	会員誌「旅のアトリエ」6月号掲載
龍谷大学文学部	13点	博物館実習「十二月展」展示
亀山市歴史博物館	1点	亀山市史通史編掲載
高槻市教育委員会	1点	物集女車塚古墳石室写真
龍谷大学文学部	7点	土馬
㈱NHKエデュケーショナル	1点	大極殿公園
小松市立図書館	1点	小松市史 図説「こまつの歴史」



## ウ 資料見学等

28点

機関名等	点数	備考
とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター職員	4点	輪宝墨書土器個人研究
龍谷大学文学部博物館学担当教員	13点	展覧会の企画立案のため
立命館大学学生	7点	寺戸大塚古墳出土埴輪
高槻市文化財課・埋蔵文化財調査センター	4点	今城塚古代歴史館開館記念展

## (3) 市民考古学講座

ア 目的 長岡京跡をはじめ市域に所在する遺跡や歴史・文化遺産への理解を深めるため、年間を通じて講座や見学会を開催する。

イ 内容 事業を通じ、参加者が本市の文化財案内人やサポーターとしても活躍できる内容で開催する。

ウ 業務 財団法人向日市埋蔵文化財センターに委託

エ 委託料 262,500円

オ 内容

テーマ	開催日	内容	参加者
春の講座「平安時代を体験しよう」			
平安京の寺を訪ねて	平成22年5月22日(土)	見学会	24人
本当に平安京時代？	平成22年6月13日(日)	講座	30人
平安京の周辺遺跡	平成22年6月20日(日)	講座	36人
平安時代遺跡見て歩き	平成22年7月4日(日)	見学会	28人
夏の講座「あなたもワタシも考古学者」			
あなたも調査員！遺跡に出かけて観察しよう	平成22年7月11日(日)	見学・体験会	17人
あなたも鑑定団！遺物を分析・分類してみよう	平成22年7月18日(日)	講座	23人
あなたも考古芸術家！遺物を描こう	平成22年8月1日(日)	講座	21人
あなたは科学者？職人？古代人？遺物をつくろう	平成22年8月8日(日)	講座	24人
秋の講座「倭の五王の時代と乙訓」			
大王の世紀と古墳秩序	平成22年9月12日(日)	講座	50人
倭の五王の古墳と副葬品をたずねて	平成22年10月24日(日)	見学会	41人
古墳出土副葬品にみる5世紀の東アジア交渉	平成22年11月14日(日)	講座	49人
埴輪から見た乙訓の5世紀	平成22年12月12日(日)	講座	62人
冬の講座「古代都市と都城」			
都市とは何か	平成23年1月23日(日)	講座	38人
古代都市と都城の成立	平成23年2月27日(日)	講座	49人
古代都市と都城の解体	平成23年3月20日(日)	講座	44人
朝堂院跡整備記念講演会「長岡宮朝堂院はなぜ八堂か」(講師中尾芳治氏)	平成22年11月21日(日)	講座・見学会同時開催 6-(3)エに掲載	67人
遺跡・史跡・博物館を楽しくみよう(講師杉原和雄氏)	平成23年3月27日(日)	講座	83人

10 文化財保護団体の育成

市内に所在する文化財保護団体の育成のため、その活動費の一部を補助した。

(1) 各種文化財保護団体補助

ア 大極殿遺跡保存協賛会	40,000円
イ 森本遺跡保存会	20,000円
ウ 物集女城を考える会	20,000円
エ 鶏冠井シャナンボウ保存会	36,000円

10 教育費 4 社会教育費 5 留守家庭児童会育成費

① 留守家庭児童会育成費（生涯学習課）

1 留守家庭児童会の入会児童数

（単位：人）

留守家庭児童会	児童数（5月1日現在）									
	22年度						21年度	20年度	19年度	18年度
	1年	2年	3年	4年	5・6年	合計				
第1	27	20	32	18	0	97	92	98	91	96
第2	25	20	18	1	0	64	92	107	104	111
第3	16	12	14	8	0	50	51	64	66	62
第4	25	32	29	9	0	95	105	103	87	84
第5	45	29	13	23	1	111	121	122	148	153
第6	15	8	7	10	0	40	35	37	35	29
合計	153	121	113	69	1	457	496	531	531	535

留守家庭児童会保護者協力金調定額（現年度分）	平成22年度 26,737,800円	平成21年度 28,276,600円	平成20年度 30,222,400円	平成19年度 24,059,000円
------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

留守家庭児童会	指導員・嘱託指導員数	アルバイト数（加配）	施設
第1	3人	3人	鉄骨造 297.00㎡
第2	3人	3人	鉄骨造 160.58㎡
第3	3人	2人	鉄骨造 167.59㎡
第4	4人	3人	鉄骨造 200.81㎡
第5	4人	5人	鉄骨造 287.67㎡
第6	3人	2人	鉄骨造 106.00㎡
合計	20人	18人	

2 留守家庭児童会指導員研修会

留守家庭児童会指導員の資質向上を図るため、実技を含めた研修会を実施した。

実施日	研修内容	活動場所
6月16日	集団生活に困難さを持つ子ども達への支援の方法	市民会館
7月5日	熱中症予防について	市役所第6会議室
9月15日	保護者クレーム対応セミナー	市民会館
10月27日	留守家庭児童会消防訓練・避難訓練	向日消防署
12月8日	インターネット社会と人権	市民会館
1月19日	知っていますか京ことば	市役所第6会議室

10教育費 4社会教育費 6図書館費

② 図書館管理運営費（図書館）

1 資料受入・廃棄状況

(1) 図書・聴覚資料

(単位：冊、点)

	一般図書	児童図書	C	D	カセット	レコード	合計
購入	3,015	1,380		67	0	0	4,462
寄贈	595	89		7	0	0	691
その他	42	16		3	0	0	61
廃棄	359	37		13	6	0	415
合計	3,293	1,448		64	△6	0	4,799

(2) その他の資料

	雑誌(種)	雑誌(総数)	新聞(種)
購入	61	839	8
寄贈	2	15	2
合計	63	854	10

2 資料所蔵状況

(1) 図書

(単位：冊)

	一般図書	児童図書	合計
総記	3,835	444	4,279
哲学・宗教	3,621	215	3,836
歴史・地理	11,614	1,589	13,203
社会科学	17,091	982	18,073
自然科学	6,839	2,957	9,796
技術・家政学	8,148	985	9,133
産業	3,122	500	3,622
芸術・スポーツ	9,201	1,247	10,448
言語	1,855	360	2,215
文学	17,557	15,673	33,230
近代小説	23,388		23,388
外国の本	599	129	728
絵本		15,536	15,536
紙芝居		1,269	1,269
合計	106,870	41,886	148,756

(2) 聴覚資料

(単位：点)

資料名	所蔵数
C D	4,128
カセットテープ	1,229
レコード	18
合計	5,375

### 3 図書館運営状況

#### (1) 貸出資料数

(単位：冊、点、日)

合 計	一般図書	児童図書	雑 誌	聴覚資料	開館日数	平 均		
						1日当たり	土・日曜日	祝日
302,242	152,926	119,738	9,550	20,028	277	1,091	1,512	1,121

#### (2) 貸出者数

(単位：人、日)

合 計	一 般	児 童	開館日数	平 均		
				1日当たり	土・日曜日	祝日
71,505	60,776	10,729	277	258	338	264

#### (3) 各種サービス

資料の貸出のほか、以下のサービスを行った。

- ア レファレンス 170件
- イ コピー 8,087枚（うちカラー259枚）
- ウ 予 約 15,486件
- エ 他館との資料の相互貸借 貸出 802件 借用 1,048件
- オ 障がい者サービス ライトハウスからカセットテープを借用し提供 164巻

カ 利用者が「京都府図書館総合目録ネットワーク」ホームページを使い資料検索できるよう京都府立図書館にデータ提供を行った。平成23年3月からは、「京都府図書館総合目録ネットワーク」ホームページから向日市立図書館ホームページを検索できる横断検索に移行した。

キ 外部データベース・インターネット利用件数 75件（平成23年3月から開始）

#### (4) インターネットホームページの運営・管理

ア アドレス <http://www.library.muko.kyoto.jp/>

イ 内容

- (ア) 図書館資料の検索
- (イ) 図書館利用案内と各種お知らせの掲載
- (ウ) インターネット予約（インターネット予約件数 年間7,946件）
- (エ) 貸出期間の延長（平成23年3月から実施）

### 4 施設の維持管理等

通常管理のほかに、次の施設・設備について工事・修繕をした。

- (1) 向日市立図書館エントランス通路整備工事
- (2) 図書館一般図書室書架照明器具取替え修繕
- (3) 図書館空調設備空気調和機緊急修繕
- (4) 図書館空調設備修繕（冷却水ポンプ等）
- (5) 壁面書架等修理
- (6) 排煙換気高窓修理

5 ボランティア活動

- (1) アベリアクラブ 19人  
 活動 本の修理 延べ 288人、1,389冊を修理
- (2) きっず・らいぶらりー 12人  
 活動 おはなしひろば 8回開催 参加人数 子供 236人 大人 131人  
 打ち合わせ・リハーサル等延べ活動人数 143人
- (3) 大人の朗読会ボランティア 7人  
 4回開催 参加人数 82人

③ 読書推進事業費（図書館）

事業名・テーマ	開催日	参加人数	内容
渡邊武コレクション 《常設展示》	平成22年4月～ 平成23年2月	来館者	寄贈を受けた「渡邊武コレクション」を広く市民に紹介するため図書館1階カウンター横の展示ケースにおいて展示した（3月は展示ケース移動のため休止）。
文学講座 「古典を楽しむ ～乙訓・洛西紀行～」	平成22年	受講者 104人	乙訓や洛西を舞台にした章段を入口にして『伊勢物語』と数々の『京都名所記』の楽しみ方を独自の視点から紹介した。
〈おはなし会 プラスコンサート〉  『はるやすみ おはなし会』  『なつやすみ おはなし会』  『クリスマス おはなし会』  『はるやすみ おはなし会』	平成22年 4月6日 (延べ2回)  平成22年 7月29日 (延べ2回)  平成22年 12月22・23日 (延べ3回)  平成23年 3月25日 (延べ2回)	46人  102人  130人  48人	ストーリーテリング（素ばなし）、絵本によるお話、紙芝居、CDによるクラシック音楽の紹介等を職員が行った。 《対象》4歳～小学生  なお、平成23年3月のはるやすみおはなし会では、パネルシアターを取り入れた。
おはなしひろば	毎月第4土曜日 (7・8・12・3月を除く。)8回	総計 367人	親と子どものふれあい、児童の読書推進を目的に、図書館ボランティアが開催した。
図書館リサイクル・デー	平成22年6月23日	119人	保存年限の切れた雑誌、図書を、資源の有効活用を目的として、市民に無償で譲り渡した。この事業は環境月間事業の一環として実施した。
書庫に入れるDay —書庫の中にも本が いっぱい—	平成22年5月5日	12人	15歳以上の市民を対象として、普段入ることのできない図書館の書庫を一般公開した。

体験学習・施設見学	平成22年4月～ 平成23年3月	体験2校 見学 6校7回	市内の中学校2年生（4日間）、小学校6年生（2日間）の体験学習及び市内小学生の見学を受け入れた。
おはなし会ボランティア 養成講座	平成22年9月9日 9月16日 9月25日	受講者 9人	図書館で活躍いただける新たなおはなし会ボランティアを募集し、最初に必要な技術を身につけてもらうことを目的に実施した。受講者のうち2人がボランティア登録を行い活動を開始した。
図書館ボランティア 講習会	平成23年3月3日 3月17日	受講者 12人	図書館や学校図書館ですでにボランティアとして活動されている方を対象にパネルシアターについての技能向上のための講習会を実施した。
大人の朗読会	平成22年6月15日 9月12日 12月7日 平成23年3月20日	参加者 82人	大人の朗読会ボランティアグループによる名作の朗読会を実施した。
小中学生読書感想文の 募集 「心に残った一冊の本」	募集期間 平成22年9月17日 ～10月1日 入賞者表彰式 平成23年1月16日	応募作品 156編	市内の小・中学生を対象に読書感想文を募集した。その中から優秀作品を選考し表彰式を実施するとともに入賞作品集を発行した。
ブックリストの発行	平成22年11月		文学講座開催に合わせて「『名所記』をより楽しむブックリスト」を発行し利用者に配布した。

## 10 教育費 4 社会教育費 7 資料館費

### ② 資料館運営費（文化資料館）

#### 1 入館者の状況

- (1) 入館者数 14,231人
- (2) 開館日数 284日
- (3) 1日平均入館者数 50人
- (4) 団体見学 70団体（20人以上の団体のみ）

#### 2 施設の維持管理

通常の管理のほかに、次の施設・設備について修繕した。

- (1) 展示ハイケースキャスター交換
- (2) 長岡宮朝堂院模型修理
- (3) 掲示板ハカマ交換修繕
- (4) スキャナー修理
- (5) 照明器具修繕
- (6) 利用者案内看板等取替修繕
- (7) 文化資料館自動ドアの修理

### ③ 文化活動推進事業費（文化資料館）

#### 1 夏休み子ども歴史教室「大極殿をつくろう！」

##### (1) 実施内容

夏休み子ども歴史教室は、夏休み期間中に物作りなどの体験学習や史跡の見学を通じて、子供たちに地域の歴史への理解と関心を深めてもらうことを目的に毎年開催している。今年度は、平城京遷都1300年に当たり、復原された平城宮第一次大極殿を見学した後、厚紙や割り箸を用いて長岡宮大極殿の模型を製作する。その作業を通じて、市内にある史跡大極殿跡についての子供たちの理解と関心を深める催しとして実施した。

(2) 開催日時 平成22年8月4日(水) 午前9時30分～午後4時 平城宮跡(奈良市) 見学  
平成22年8月5日(木) 午後1時30分～4時

文化資料館研修室、長岡宮大極殿・朝堂院公園見学

平成22年8月6日(金) 午後1時30分～4時 文化資料館研修室

(3) 講師 長谷川澄夫氏

(4) 参加人数 (平城宮見学) 市内在住の小学2年生～小学6年生、保護者12名  
(模型製作) 市内在住の小学4年生～6年生 7名

(5) 作品展 完成した作品は、作業の様子を写した写真とともに「夏休み子ども歴史教室作品展」として、8月10日(火)から8月29日(日)まで資料館で展示した後、随時返却した。

#### 2 文化講演会

##### (1) 実施内容

乙訓を中心とした日本の歴史や文化について、専門的に研究しておられる先生を講師にお迎えし、開催する催しである。今年度の文化講演会は、特別展「幕末・維新の乙訓をゆく」の開催に関連して、当該期の京都をめぐる政治・社会の動向についてご講演いただいた。展示資料は、向日市域・乙訓地域の地元の史料が大半であったので、その時代背景について、特に薩長同盟など一般の方々の関心が高いテーマに引きつけて、厳密な史料批判に基づく専門的な研究内容を、分かりやすくお話しいただいた。

(2) 開催日時 平成22年10月17日(日) 午後2時～4時

(3) 講師・演題 家近良樹氏(大阪経済大学教授)  
「幕末史の常識を問う—薩長同盟史観への疑問—」

(4) 参加人数 107人

#### 3 日曜談話会

資料館職員が、調査や展示準備など日常業務の中で調べた内容を報告し、参加した市民と気軽に語り合う催しで、身近な地域の歴史や文化についての理解を深めるための事業として開催した。

今年度は秋に開催した特別展期間中にも行い、館職員だけでなく、市民の学習サークルメンバーの方々にも、日頃の研究の成果をお話しいただいた。

- (1) 6月6日(日) 午後2時～4時、30人  
「向日丘陵の古墳」 中島信親(文化資料館研修職員)
- (2) 8月22日(日) 午後2時～4時、7人  
「戦時下の暮らし」 向井直子(文化資料館嘱託職員)
- (3) 11月14日(日) 午後2時～4時、28人  
「幕末・維新を生きた乙訓の人々」 玉城玲子(文化資料館主幹)
- (4) 11月28日(日) 午後2時～4時、54人  
「戊辰之役と東軍方の追悼碑」 佐藤兼司氏(むこうまち歴史サークル2班)  
「中久世村平松家領分役務記録を読む」 北岡彦七氏(むこうまち歴史サークル4班)  
「幕末維新期の摺物・瓦版を読む」 山中美緒(文化資料館臨時職員)

#### 4 歴史ウォーク 「幕末の西国街道を歩く－向日町界限－」

##### (1) 実施内容

特別展「幕末・維新の乙訓をゆく」の関連事業として、向日市域の西国街道に沿って点在する史跡を、幕末当時の歴史解説を聞いていただきながら散策する催しとして実施した。

- (2) 開催日時 平成23年10月23日(土) 午前10時～午後1時
- (3) コース 集合・西向日公園～上植野の寺々～一文橋～中小路家住宅～向日町の町並み～向日神社～社司六人部邸(外観のみ)～富永屋～向日市文化資料館～阪急東向日・解散(約3.75km)
- (4) 参加費 500円(入場料・保険料を含む。)
- (5) 参加人数 29名

#### 5 2市1町連携歴史ウォーク 「2011西国街道・丹波街道でつなぐ乙訓たてもの探訪」

##### (1) 実施内容

乙訓地域(向日市・長岡京市・大山崎町)には、江戸時代～昭和初期の名建築が点在している。近年、国の登録文化財となった建物も少なくないが、これらは日頃一般に公開されていないものも多く、気軽に見学することが難しいものがほとんどである。そこで、これらの名建築を味わっていただくために、今回の歴史ウォークを2市1町の教育委員会連携事業として企画した。

- (2) 開催日時 平成23年2月19日(土) 午前9時～午後3時30分

##### (3) コース・参加費

※ ①及び②は午前9時～正午、午後0時30分～3時30分の2グループ、

③は午前10時～午後3時の1グループ 計5グループ

(参加費は見学先入場料)

- ① 丹波街道コース(参加費100円)  
長岡天満宮大鳥居前(長・集合)→田村家(長)→佐藤家(長)→河合家(長)→〈善峰道〉→富永屋(向)→向日市文化資料館(向)
- ② 西国街道Aコース(参加費600円)  
神足ふれあい町家(長・集合)→中小路家住宅(向)→(六人部家住宅)(向)→富永屋(向)→(須田家住宅)(向)→向日市文化資料館(向)
- ③ 西国街道Bコース(参加費1,200円)  
JR長岡京駅前(集合)→神足ふれあい町家(長)→中野家(長)→大山崎町歴史資料館(大)→聴竹居(大)→大山崎山荘・美術館(大)



(4) 参加人数(スタッフを含む。)

① 午前19人、午後19人 ② 午前11人、午後8人 ③ 26人 計83人

## 6 史跡めぐり「田原本・桜井の歴史と自然を訪ねて」

### (1) 実施内容

近隣地域の史跡、景勝地を訪問し、学び親しむことを通じて、本市の歴史・文化・自然への理解、愛着を深める事業として、弥生・古墳時代をテーマとした資料館や古墳現地を訪ねた。

(2) 開催日時 平成23年3月13日(日) 午前8時～午後6時

(3) 行先 唐古・鍵考古学ミュージアム→桜井市埋蔵文化財センター→箸墓古墳→大神神社

(4) 参加人数 18歳以上の向日市民 43人

## 7 むこうまち歴史サークルの育成

文化資料館を拠点に、向日市をはじめ乙訓地域の歴史と文化を学ぶ自主学习サークルとして発足した。興味のあるテーマごとに班を編成し、各班ごとに毎月2回ずつ学習会を開くほか、今年度は年4回の全班対象の見学会を実施した。

平成22年4月24日(土)には年次総会を開催した。(登録者 64人)

- 1 班 古代の日本を学ぶ
- 2 班 乙訓地域に残る石造物を訪ねる
- 3 班 乙訓の史跡を訪ねる(寺社を中心に)
- 4 班 市内に残る江戸時代の古文書を読む

## 8 文化資料館ボランティアの育成

文化資料館ボランティアの会の育成・支援を行い、小学校児童や団体見学者への常設展示案内や部分的に市内の史跡案内などに取り組んだ。平成14年6月からは土曜日の当番制案内も始めている。

随時に館蔵資料の整理を行い、整理した資料を展示するなど、ラウンジ展示への参画も実施した。

また、これらの活動に必要な月例会も開催した。(登録者20人)

### 活動内容

- ・団体見学の案内等 29件 ・月例会・研修会 11回 ・展示事業の協力 10件
- ・夏休み子ども歴史教室指導補助2日間 ・資料整理事業 随時 ・土曜日の案内延べ 90人

## 9 模型制作工房活動関連事業 「ゴールデンウィークに資料館内を電車が走る! Part 4」

### (1) 実施内容

当館の市民活動グループ模型制作工房が制作した模型の一つ、「昭和35年(1960)頃の国鉄向日町駅と駅前町並み模型」の展示・公開のための事業として、平成16年、平成18年、平成20年に次いで、4回目の実施になる。内容は、制作した模型に、市販の鉄道模型のレールを連結し、昭和35年当時の向日町駅に電車が走る風景を再現したものである。今回は、JR向日町駅や東海道線敷設、向日町操車場に関する資料の展示に重点を置き、明治期の古文書や絵図、写真パネルを従来より数多く展示・紹介した。

- (2) 開催日時 平成22年5月2日(日)～5日(水・こどもの日)  
各日、午前10時～正午、午後1時～3時
- (3) 入場者 第1日(5/2) 196名、第2日(5/3) 150名、  
第3日(5/4) 140名、第4日(5/5) 164名 計 650名

#### 10 博物館実習生の受入

地域の歴史や文化財に関心を持ち、主体的に関わろうとする市民を育成する目的で、当館での博物館実習を希望する市内・近隣地域居住の大学生9名を受け入れ、展示、収蔵資料の整理・管理などの実務を指導し、富永屋の調査も行った。

### ④ 調査収集展示事業費（文化資料館）

#### 1 調査収集

- (1) 特別展開催のための資料調査、収集、研究
- (2) 普及活動（歴史教室・日曜談話会など）のための調査、収集、研究
- (3) 乙訓の歴史・文化に関する資料調査、収集、研究
- (4) 図書の収集整理 資料館活動に関する参考図書の収集整理  
(平成22年度受領図書 236機関 672冊)

#### 2 資料の公開

- |                  |      |
|------------------|------|
| (1) 収蔵資料貸出       | 22 件 |
| (2) 写真・模型等二次資料貸出 | 28 件 |
| (3) 資料写真撮影・複写    | 59 件 |
| (4) 考古資料閲覧       | 5 件  |
| (5) 古文書閲覧        | 17 件 |
| (6) 民具閲覧         | 1 件  |

#### 3 常設展・ラウンジ展示コーナー

- (1) 常設展示の点検・清掃・補修

- (2) ラウンジ展示コーナーの展示

ラウンジにおいて、館収蔵品・寄託品を中心にテーマ展を実施した。

ア 「むこうし・おとくにを描いた水彩画」

- ①“たけ・さくら” 期間:平成22年4月3日(土)～5月16日(日)
- ②“車塚近くの風景” 期間:平成22年5月22日(土)～6月13日(日)
- ③“上植野の街並み” 期間:平成22年6月19日(土)～7月25日(日)

イ 「乙訓の農具―農具絵図とたけのこの「ホリ」―」

期間:平成22年4月3日(土)～5月16日(日)

- ウ 「出土遺物からみた物集女車塚古墳展」 期間:平成22年5月22日(土)～6月13日(日)
- エ 「向日市域の地租改正」 期間:平成22年6月19日(土)～7月25日(日)
- オ 「くらしのなかの戦争展」 期間:平成22年8月1日(日)～9月5日(日)
- カ 「むこうしの風景—伊藤八龍さんの水彩画—」 期間:平成22年12月7日(火)～12月26日(日)
- キ 「くらしの道具展」 期間:平成23年2月25日(金)～3月26日(土)
- ク 「ひな人形展」 期間:平成23年2月25日(金)～3月26日(土)

※『くらしの道具展』に併催の形でひな人形を展示する。

#### 4 特別展「幕末・維新の乙訓をゆく」

##### (1) 実施内容

今年は、激動の幕末・維新时期に焦点を当て、当時の動向を伝える古文書や歴史資料を展示して、動乱の時代を乙訓の人々がどのように生きたのか、乙訓地域がどのようにして新しい時代を迎えたのかを紹介する特別展を開催した。

これまで当館ではこの時代を展示テーマに取り上げたことがなかったため、今回の特別展開催を契機に、当時の古文書や歴史資料を掘り起こし、動乱の時代に人々がいかに対応しようとしたか、その歴史を探ることにした。また、少し時代を遡り、幕末に至る時代の流れに関わる国学や尊王思想についても、地域に即して振り返った。具体的には、向日神社を中心とする国学研究書籍、幕末公家領村落の動向を伝える古文書、禁門の変・鳥羽伏見の戦いの記録・瓦版、幕末の戦いを明治期に顕彰した資料、江戸～明治期の陵墓関係古文書・絵図などを実物展示するほか、講演会や市内の関連史跡等を訪ねる歴史ウォークを実施した。それによって郷土への愛着を育み、市民のまちづくりへの関心が高まることを期待した。

また、大山崎町歴史資料館や高槻しろあと歴史館など、近隣の博物館・資料館でも、幕末・維新时期をテーマにした展示が計画されていたため、これらと連携してより広がりのある事業となり、本市の歴史的魅力を市内外に広くPRした。

(2) 開催期間 平成22年10月6日(水)～11月28日(日) 44日間

(3) 入館者数 3,182人

##### (4) 関連事業

- ア 記念講演会 (③ - 2 参照)
- イ 歴史ウォーク (③ - 4 参照)
- ウ 日曜談話会 (③ - 3 参照)

#### 5 市内民家公開展示協力事業

平成20年度に国登録文化財となった上植野・中小路家住宅をはじめ、市内の歴史的民家を保存・活用する市民団体の活動に協力した。当館の収蔵資料の活用の意味も含めて、資料を貸し出し、一部展示作業についても協力し、当館での展示と連動した取組もあった。

##### (1) 展示事業

開催日	場所	内容
平成22年4月3日(土)～4月4日(日)	富永屋	向日市内の桜景観写真パネルの展示
平成22年4月29日(木)～5月3日(月)	富永屋	武者人形・五月人形の展示
平成23年2月25日(金)～3月3日(木)	中小路家住宅	ひな人形の展示
平成23年2月26日(土)～3月3日(木)	富永屋	ひな人形の展示

(2) 西国街道ひな人形めぐり

文化資料館と市内の民家（中小路家住宅、富永屋）との連携事業として、ひな人形を展示する催しを開催した。今年度は、西国街道沿いの民家2か所が新たに展示箇所に加わり、ひな人形を市内5か所、市外1か所でスタンプラリーとして巡覧してもらうことができた。多くの市民の方々に、楽しみながら地元あるいは関西のひな祭りの伝統に触れていただくとともに、展示会場となる民家とそこの生活文化に親しむ機会となった。全施設での合計来場者数は3,478人にのぼった。

ア 向日市文化資料館

平成23年2月25日(金)～3月26日(土) 25日間

イ 富永屋

平成23年2月26日(土)～3月3日(木) 6日間 午前10時～午後3時

ウ 塩崎家

平成23年2月26日(土)～3月3日(木) 6日間 午前10時～午後3時

エ (有) 吉川工務店

平成23年2月26日(土)～3月3日(木) 6日間 午前10時～午後3時

オ 中小路家住宅

平成23年2月26日(土)～3月6日(日) 9日間 午前10時～午後5時

カ 神足ふれあい町家

平成23年2月26日(土)～3月6日(日) 9日間 午前10時～午後5時

ア、イ、オ及びカの4か所をスタンプポイントとし、スタンプカードを配布して、3か所のスタンプを集めた方に、各会場展示のひな人形の写真入り葉書1枚、4か所とも集めた方にはもう1枚を差し上げた。

10 教育費 4 社会教育費 8 天文館費

② 天文館管理運営費（天文館）

1 プラネタリウム関係

(1) 一般投影 「おひさま おつきさま おほしさま」平成22年4月1日～平成23年3月31日

(2) 団体予約学習投影

幼児・小学生低学年番組 「おひさま おつきさま おほしさま」

小学生高学年番組 「星とその動き」

中学生・高校生番組 「天体の動きと地球」

ア 総入館者数及び開館日数 (単位:人)

	観覧者数 (予約及び一般投影)					ロビー 展示のみ 入館者	入館者 総数	開館 日数
	投影回数	大人	小中学生	幼児	観覧者計			
計	136回	873	1,017	2,846	4,736	1,203	5,939	220日

イ 団体予約学習投影 (火～金曜日) (単位:人)

	投影 日数	投影 回数	市内	市外	観覧料		観覧者数			
					有料	免除	大人	小中学生	幼児	合計
計	60日	87回	17件	78件	21件	74件	468	781	2,710	3,959

ウ 一般投影（毎月第2土・日曜日）

（単位：人）

	投影 日数	投影 回数	観覧者数（予約及び一般投影）			
			大 人	小中学生	幼 児	合 計
計	25日	49回	405	236	136	777

(3) 特別企画

プラネタリウム室の多目的利用の一環として、コンサートや夏の星空案内を開催

ア 七夕コンサート

日 時 平成22年8月14日（土） 午後4時～午後5時  
 内 容 ピアノ演奏と当日の星空解説  
 講 師 塚本文子さんほか  
 入場者数 60人

イ 夏の星空案内「星のおやつ」

日 時 平成22年7月27日（火）～8月31日（火） 毎週火・水曜日 午後3時  
 内 容 当日の星空をわかりやすく解説  
 講 師 天文館職員  
 入場者数 194人

ウ 秋の特別企画

日 時 平成22年11月13日（土） 午後4時～午後5時  
 内 容 「こぎつねチロンの冬じたく」と題して秋から冬にかけての夜空をわかりやすく  
 解説  
 講 師 井本 彰（向陽小学校教諭）  
 入場者数 65人

エ クリスマスコンサート

日 時 平成22年12月11日（土） 午後4時～5時  
 内 容 オカリナやフルート、マンドリン、ピアノによる演奏と当日の星空解説  
 講 師 グループ「オカリコ」  
 入場者数 57人

(4) お盆の特別番組

幼児向け番組

日 時 平成22年8月13日（金）～15日（日） 午前10時30分ほか2回投影  
 内 容 「おひさま おつきさま おほしさま」を投影  
 入場者数 180人

## 2 天体観望会関係

### (1) 定例天体観望会

目 的	星空解説や星座等の観望を通して天体への関心を深めてもらうことを目的に開催		
開 催 日	毎月第2土曜日	午後7時～午後9時	定員40人
開催回数	12回		
天体観測・星空解説ともに開催	5回		
星空解説のみ開催	7回		
応募人数	571人	(市内：376人、市外195人)	
参加人数	332人	(市内：197人、市外135人)	

### (2) スターウォッチング in 朝堂院

目 的	野外観望会を通して天体への関心を深めてもらうことを目的に開催		
日 時	平成22年6月26日(土)	午後7時30分～午後9時	
会 場	朝堂院		
内 容	火星・土星などの観望		
参加人数	0人(雨天のため中止)		

### (3) 金星観望会

目 的	「明けの明星」とよばれる金星を観望し、天体への関心を深めてもらうことを目的に開催		
日 時	平成22年12月7日(火)～12月12日(日)	午前10時～午前11時	
会 場	天体観測室		
参加人数	139人		

## 3 夏休みこども天文教室 「キッズ・プラネット2010」

目 的	小学校4～6年生を対象に天体への理解と関心を深めてもらうことを目的に開催		
日 時	平成22年8月27日(金)	午後1時30分～午後4時30分	
会 場	天文館ロビー		
内 容	紙粘土による惑星づくり		
参加人数	10人		

## 10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

### ② スポーツ健康増進事業費（生涯学習課）

市民の健康の保持・増進とコミュニケーション形成に寄与するため、市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツ活動を行える生涯スポーツの普及、条件整備に努めた。

また、生涯スポーツを振興する上で、指導的役割を担う体育指導委員の資質向上のため、研修機会の拡充に努めた。

（主な事業内容）

- 第29回市民総合体育大会（5月16日～6月27日）
- スポーツ交流フェア（10月17日）
- D oスポーツ i n 向日（11月21日）
- 地区社会体育振興会等への支援
- ワイワイスポーツクラブへの指導

#### 1 体育指導委員 14人（男9人、女5人）（平成22年4月1日現在）

- (1) 体育指導委員協議会定例会を毎月第1木曜日に開催した。
- (2) 体育指導委員協議会において毎月1回実技研修を開催した。
- (3) 主に教育委員会、体育協会、ワイワイスポーツクラブなどが実施する事業に対して運営協力を行った。
- (4) 乙訓体育指導委員連絡協議会研修会・大会

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参 加 人 数
総 会	5月27日	長岡京市中央生涯学習センター	11人
評 議 員 会	5月13日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	9月28日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	3月15日	京都府乙訓総合庁舎	3人
第1回乙訓スポーツ指導者研修会	7月16日	西山公園体育館	10人
第2回乙訓スポーツ指導者研修会	12月15日	大山崎町体育館	13人

#### (5) その他研修会等

研修会・大会	期日	会場	参加人数
第43回京都府体育指導委員研究大会	6月21日	アミティ丹後 網野体育センター 八丁浜シーサイドパーク	14人
平成22年度近畿体育指導委員研究協議会	2月4日、 5日	神戸文化ホール 神戸中央体育館 大倉山公園	延べ12人

2 学校体育施設及び向日町競輪場スポーツ施設の開放

(1) 小学校体育施設

(単位：回)

学 校 名	運動場開放状況						体育館（大体育室）開放状況					
	開放回数		使用回数		稼働率		開放回数		使用回数		稼働率	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
向陽小学校	0	0	0	0	0.0%	0.0%	179	327	134	307	74.9%	93.9%
第2向陽小学校	186	345	122	87	65.6%	25.2%	179	317	58	284	32.4%	89.6%
第3向陽小学校	182	342	79	42	43.4%	12.3%	180	318	106	300	58.9%	94.3%
第4向陽小学校	183	338	141	89	77.0%	26.3%	177	309	75	238	42.4%	77.0%
第5向陽小学校	178	340	120	118	67.4%	34.7%	163	318	41	241	25.2%	75.8%
第6向陽小学校	188	346	154	183	81.9%	52.9%	172	289	125	249	72.7%	86.2%
合 計	917	1,711	616	519	67.2%	30.3%	1,050	1,878	539	1,619	51.3%	86.2%

(2) 中学校体育施設

(単位：回)

学 校 名	体育館（大体育室）開放状況					
	開放回数		使用回数		稼働率	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
勝山中学校	/	264	/	251	/	95.1%
西ノ岡中学校	/	273	/	249	/	91.2%
寺戸中学校	/	227	/	203	/	89.4%
合 計	/	764	/	703	/	92.0%

(3) 向日町競輪場スポーツ施設

(単位：回)

施設名	開放回数		使用回数		稼働率	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
多目的運動広場（Aグラウンド）	111	359	39	44	35.1%	12.3%
テニスコート（2面）	878	/	457	/	52.1%	/
卓球場	837	/	258	/	30.8%	/
陸上トラック	456	/	19	/	4.2%	/

(4) 小学校グラウンド夜間照明保守点検

ア 点検箇所 第2向陽小学校、第5向陽小学校

イ 点検料 326,550円



### 3 スポーツ振興事業

#### (1) 第29回市民総合体育大会の開催（共催事業）

種 目	参加チーム・参加者数	期 日
ソフトボール 男子	14チーム 243人	5月30日
女子	3チーム 50人	6月13日
テニス	40人	5月16日
ボウリング 団体の部	13チーム 39人	6月6日
個人の部	6人	
バドミントン ダブルス	54人	6月13日
バレーボール 男子	3チーム 25人	6月13日
女子	5チーム 61人	
ゲートボール	7チーム 39人	6月20日
卓球 団体戦	17チーム 73人	6月20日
個人	101人	
ソフトテニス	66人	6月27日
合 計	797人	

#### (2) スポーツ交流フェア

期 日 平成22年10月17日（日）

会 場 市民体育館

《参加チーム数等》

種 目 名	参加チーム（人）	種 目 名	参 加 者
交 流 試 合		ワ イ ワ イ コ ー ナ ー	
ド ッ ズ ビ ー	5チーム (71人)	シ ョ ー ト テ ニ ス	(53人)
ソフトバレー（地区）	14チーム (69人)	ソ フ ト バ レ ー	(28人)
ソフトバレー（トリム）	5チーム (21人)	バ ド ミ ン ト ン	(37人)
カ ロ ー リ ン グ	17チーム (52人)	卓 球	(75人)
		イ ン デ ィ ア カ	(27人)
		体 力 テ ス ト	(79人)
	合 計		512人

#### (3) スポーツ指導者研修会

研修会名	実 施 日	場 所	参加対象	参加人数	講 師
憶えておきたい スポーツ障害	1月29日（土）	市民会館	市内スポーツ 団体指導者	48人	京都府立医科大学 学内講師 新井祐志氏
キンボール講習会	2月8日（火）	第6向陽小学校	体育指導委員	13人	一般社団法人 日本キンボール連盟 副理事長 前山直氏

## (4) 指導者招致事業

事業名	実施日	参加対象	参加人数	講師・指導者
京都サンガF.C. スポーツアカデミースペシャル	6月8日(火)	第5向陽小学校 4年生	109人	京都サンガF.C. 手島和希氏 中村克孝氏 ハウバート・ダン氏
バスケットボールクリニック	6月19日(土)	勝山中学校バスケットボール部	30人	元リベック 女子バスケットボール日本代表 参河紀久子氏
フラッグフットボール教室	2月10日(木)	第2向陽小学校 5年生	93人	立命館大学 アメリカンフットボール部 「パンサーズ」

## 4 体育団体育成事業

## (1) 少年スポーツ団体への事業補助

団体名	種目名	団員数
向日市スポーツ少年団本部 (野球1、サッカー1、バレー1、剣道1、少林寺2)		6団体
向日市野球スポーツ少年団	野 球	52人
向日ブルージャガーズ	野 球	25人
向日ポパイズ	野 球	33人
向陽オックス	野 球	16人
向日ヨタローズ	野 球	37人
向日ファイターズ	野 球	29人
向日ウィングス少年野球クラブ	野 球	77人
ホップバスケットボールクラブ	バスケット	23人
KOYOイージーミニバスケットボールクラブ	バスケット	36人
向日市ジュニアバドミントン教室	バドミントン	59人
向日市柔道教室	柔 道	39人
向日市剣道スポーツ少年団	剣 道	27人
日本正武館合気道	合 気 道	14人
少林寺拳法京都向陽スポーツ少年団	少 林 寺 拳 法	38人
少林寺拳法京都向日町スポーツ少年団	少 林 寺 拳 法	19人
育成事業補助金額	496,400円	合計
		524人

## (2) 財団法人向日市体育協会への運営・事業補助

○運営・事業補助金 総額 17,424,000円

(内訳) 運営補助金 8,191,000円

事業補助金 9,233,000円

○加盟団体 地区体育振興会 11地区

種目団体 9団体

5 各種大会等選手派遣事業

京都府下（市町村対抗）に選手を派遣した。

延べ224人

大会名	期 日	市 町 村 対 抗 競 技	市町村交流種目
第33回京都府民総合体育大会	平成22年8月 ） 平成23年2月	バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、テニス、軟式野球、バドミントン、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ゲートボール、陸上競技、グラウンドゴルフ、駅伝競走	ソフトバレーボール 卓球バレー

6 軽スポーツフェア

(1) Doスポーツin向日（向日市まつり）

日 時 平成22年11月21日（日） 午前10時～午後4時

会 場 向日町競輪場走路内グラウンド

内 容 ショートテニス、グラウンドゴルフ、輪投げ、ドッジビー、スリータッチ

指 導 者 体育指導委員

参加者数 634人